

せとうちちょう



議会だより

第164号

平成 29 年 2 月発行

発行／鹿児島県瀬戸内町議会 編集／議会報編集委員会 〒894-1592 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋船津 23 番地

安心・安全なまちづくりに
議員一丸となつて
がんばります



副議長
向野 忍



議長
岡田 弘通

議会構成決まる



委員
岡田 弘通



委員
榊 藤光



委員
柳谷 昌臣



副委員長
中村 義隆



委員長
池田 啓一

総務経済常任委員会



委員
安 和弘



委員
向野 忍



委員
渡島 芳臣



副委員長
澤 佳男



委員長
元井 直志

文教厚生常任委員会

第4回(12月)定例会
★こんなことを決めました…P2
★一般質問(9名が登壇)…P3~9

委員
向野 忍

委員
中村 義隆

委員
澤 佳男

副委員長
元井 直志

委員長
池田 啓一

議会運営委員会

こんなことを決めました

改選後初の議会、第4回（12月）定例会は、12月12日～19日までの8日間の日程で開かれました。はじめに正副議長選挙、常任委員会・運営委員会委員の選任、各広域事務組合議会議員の選挙等を行い、新しい議会構成が決まりました。

また、専決議案2件、補正予算議案7件、条例議案6件、その他議案8件、議員発議1件の計24件の議案を審議し可決しました。

（主な議案等の要旨は次のとおりです。）

大島地区広域事務組合議会議員は、次のとおりです

消防組合議会議員に

向野 忍議員

農業共済事務組合議会議員に

元井 直志議員

介護保険一部事務組合議会議員に

中村 義隆議員

衛生組合議会議員に

池田 啓一議員

一般会計補正予算
（第3号）

主な内容は、「しま元氣プロジェクト費」にふるさと応援基金事業費として60,396千円。

また、「生涯福祉費」に23,779千円、「臨時福祉給付金（経済対策Ⅱ）」支給事業費「52,681千円を補正、「地籍調査事業費」に23,447千円。「防災・安全交付金事業費」に10,086千円を追加、「辺地対策道路整備事業費」24,004千円、「社会資本整備総合交付金事業費」1,364千円（奄振）港湾建設費から13,924千円を減額しました。総額1億2110万7千円を追加しました。

町有財産の売払いについて

陸上自衛隊奄美駐屯地瀬戸内分屯地（仮称）の用地として、節子字684番地の一部の町有地を防衛省へ売払い処分をする。

公有水面埋立について

鹿児島県が施工する道路改築工事に伴い道路用地として造成する埋立地（大字久慈字伊目6番地から大字古志字浦ノ120番地乙に至る間の土地に接する県道敷きの地先公有水面）面積 2,469・23㎡の埋立になります。

路線認定について
（林道↓町道）

町道網野子峠線三叉路から町道嘉徳支線の終点間の林道嘉徳青久線を廃止して、町道に認定しました。

これは、国の補助事業で整備を進める為のものです。

固定資産評価委員の選任について

任期満了に伴い「町田重孝」氏・「久保浩康」氏「川井黎子」氏3名を引き続き選任いたしました。

監査委員に

澤 佳男議員

一般質問

第4回（12月）定例会では、9名の議員が町政全般にわたり、質問・提言を行ない議論を交わしました。一部を要約して、紹介いたします。

なお、一般質問の詳細については町立図書館にて「会議録」をご覧ください。



安 和弘議員

政治の原点 町民の生命と財産を守る

議員 節子・伊須集落の災害からの解消。災害対策について粘り強く取り組むべきと思いますが、どうお考えでしょうか。

町長 節子集落の災害対策については、平成30年度から実施予定の県営中山間総合整備計画に伴う集落説明会及び現地調査をし、平成29年度に県と国のヒヤリングにより事業採択の認可を得るようになっております。伊須集落については、今年の4月22日に議会総務経済委員の方たちと、現地調査を行ない、伊須集落に

おいても県営中山間総合整備事業を計画しており、今年の10月26日にワークショップとあわせて、事業説明会を実施したところであります。

災害対策における護岸のかさ上げについては、県と協議のうえ本事業で取り組むことになりました。



中村 義隆議員

観光振興について

議員 本町には、ガジュマル、アコウ（ホーギ）、デイゴ、マツなどの巨木、神木などがありますが樹高や樹齢、幹回りなどの案内看板がありません。パワースポットとして広く伝

えてはどうかでしょうか。

町長 現在、瀬戸内町の樹木として紹介されているものには、諸鈍のデイゴ、武名のガジュマル、油井のサキシマスオウノキ、於齊のガジュマル、西古見のデイゴ等があり、これらは観光パンフレットに掲載して案内をしているところです。

樹高や樹齢等の標識につきましては、掲示箇所もありましたが破損したり、無くなっているところもありますので、統一した形での案内板を検討したいと思っております。

不妊治療費助成について

議員 不妊治療費は、自費がほとんどで一回のチャレンジで四十〜五十万を超える治療を保険適用外で行い、個人の負担が大

きいのが現状です。瀬戸内町独自の助成制度はできないでしょうか伺います。

町長 現在、本町におきましては不妊治療の保険適用外についての助成制度はありませんが、不妊治療を受ける際に必要な交通費及び宿泊費を助成しております。

本町独自の助成制度につきましては、不妊に悩む夫婦の不妊治療が推進されると共に精神的負担と経済的負担の軽減を図り、少子化対策を図るためにも助成制度は必要だと認識しておりますので、今後は相談窓口やサポート体制の充実を図りながら助成対象範囲や内容について検討してまいりたいと考えています。

健康増進について

議員 クラウドゴルフ場建設については、同僚議

員からも再三要望してき
ましたが、そのたびに「検
討します」の答弁ですが、
どこまで計画されている
のかお伺いします。

教育長 グラウンドゴルフ

場につきましては、グラウン
ドゴルフ連盟と政策推進
室・社会教育課との三者で
話し合いをいたしました。
その結果を踏まえ、要望に
お応えできるよう計画を進
めてまいりたいと考えてお
ります。

な意思決定ができる、ピラ
ミッド型の組織改革はで
きないでしょうか。

町長 機構改革については、

「事務改善審議会」を中心
に組織の合理化に向けて取
り組んでいます。その中に
おいて、補佐級等の人数が
多く、このことが逆ピラミ
ッドになる要因のひとつで
もあるとの分析等もでてい
ますので、適正な配置にな
るよう今後も努めていきたく
いと思います。

職員の長期研修につい
て

議員 企業業は人成りと

よく言われています。役場
職員を専門職員として育
てるために、大学での研修
を含め専門学校や先進地
での長期研修のお考えは
ないでしょうか。

町長 職員の研修等につき
ましては、実務研修の一環
として「大島支庁・奄美群
島広域事務組合・県後期高
齢広域連合事務局・鹿児島
県町村会」へ職員を派遣し
ています。今後も「県市町
村課」への研修派遣、人事
交流による県・専門学校・
先進地派遣については受け
入れ先の問題もありますが、
機会をとらえて取り組みた
いと思います。

**企画提案型コンペの実
施**について

議員 恵まれた自然を有

する本町は、意外性の中に
将来を切りひらくアイデ
ア等があるかもしれませ
ん。
企画提案のコンペによ
り若者が、将来を描き、や
る気を起こす環境作りは
必要だと思いますが、お伺い
します。

町長 昨年の12月に公表し
た「瀬戸内町まち・ひと・
しごと創生総合戦略」の策
定に当たっては、個人や企
業等多くの方から企画提案
がありました。新たな企画
提案については、現時点で
はコンペ方式は考えていま
せんが、総合戦略に位置づ
けられるものは取り入れて、
実効性のある総合戦略とし
ていきたいと考えておりま
す。

**新造船「フェリー」かける
ま」の料金**について

議員 現在の瀬相港行

き・生間港への乗船料金に
違いがありますが、新造船
においても料金は据え置
きでしょうか、お伺いた
します。

が270円となっております。
この料金を平成29年4月
1日から、一律360円と
する一方、加計呂麻島在住
の方々につきましては、9
0円の離島割引を適用し2
70円とする方向で、現在、
国及び県と協議を重ねてお
ります。



澤 佳男議員

**瀬相待合所管理人の長
期にわたる勤務**につい
て

議員 瀬相待合所管理人

の募集方法について、さき
ほどの答弁では今まで通
りやうていくということ
ですが、同じ人物が23年

**行政組織の機構改革に
ついて**
議員 事務の迅速、柔軟

という長期間、その仕事を独占しているという現状については、このように考えているのですか。

副町長 公募という、ある意味公平な形で募集方法のなかで、その結果として長年同じ方が従事しているということであり、その結果のみをもって募集方法のあり方の是非を問うということには無理があるのではないかと考えています。従事されている方に関して町民から苦情があるとか、対応に問題があるとかいうことであればそれなりの対応も必要であると考えますが。

めにも、期限を切って上限を設けるべきではないのか、と質問しましたが、それも考えないということですね。

商工観光課長 これは単年度募集であり、毎年2月に広報誌等で町民に周知して、その年の4月から翌年3月までの一年間、という限定で募集をしています。

議員 一年ごとの契約だから、何年続けてもかまわないというのは、わたしはちょっと違うような気がします。

商工観光課長 ほかに応募する方がいれば、こちらで選考等をして決定したいと考えていますが、これまで一名しか応募がなかったのですね、たまたまこういう長期間にわたって業務していた

議員 わたしは、以前この質問をしたときに、なぜ加計呂麻在住でなければいけないのか。

同一人物が長期にわたって勤務するのを防ぐた

だく、という結果になっていきます。

議員 いまは、その職に就いている人がいるから、他の人が応募しない。

しかし、たとえば10年なら10年の年限がきてその人がやめたら、すぐに次の人が応募するでしょう。そういうものだ、わたしは思います。その辺のことも考えるべきだと思います。

23年たっても、それでもかまわないというのであれば、30年でも40年でも、一人の人物がその仕事を独占することにつながるのではないかと思います。

わたしは、その仕事をやりたいと思うている人は町民の中にいくらでもいる、と考えています。ですから、その仕組みをつくっ

ている町のほうが、そういう町民の気持ち（忖度）をそんたくして、もっと考えるべきではないかと思えます。



渡島 芳臣議員

町政について

議員 給食センターを清水地区に建設する方針を決定しましたが、予定地を購入されたのか、不動産鑑定の見積額を伺います。

教育長 給食センターを清水地区に建設する方針を決定しましたが、教育委員会としましては、用地の取得については、町長部局が進めているところであり、用

地の取得と登記完了の結果を待っている状況であります。

議員 防災センターの建設は、補助事業の名称が変更されていますが、この内容、施設建設の進捗状況、住民説明会は行われたのか、お尋ねします。

町長 名称変更については国土交通省への陳情活動の結果、社会資本整備総合交付金事業の基幹事業である休憩施設整備事業として採択されています。施設建設の進捗状況については本年十一月二十一日に建設検討委員会の承認を得て、基本設計が完了したところであります。住民説明会については、町広報誌二月号においてお知らせするとともに、毎年四月に開催される囑託委員会において施設の概要を

説明し、各集落民及び市街地の方々への周知をお願いしたいと考えております。

議員 節子養豚団地に関して町との賃貸契約書の解除を通知し、その後、解除通知を取下げた経緯、新たに確約書の締結、その後、本契約書を締結した経緯を伺います。

町長 解除通知の後、農業生産法人より賃貸契約解除に対する異議申立書が提出されました。お互いに合意に至ることが不可欠であると判断し、解除通知書の取り下げを通知しました。

確約書締結につきまして交渉は難航し、これ以上遅れるようであれば部隊配備の白紙化の恐れもあり、損失補償額三千万円、営業移転用の土地として町有地を譲渡する内容の確約書を締

結しました。

議員 百円バス運行を十月より試験運行を始めましたが、町民は当初から批判的でした。観光客が利用しにくい時間間隔、全町民が恩恵を受けられない不公平感、利用できない地区からは相当不満が出ていました。この事業を全路線で実施すると、収入率は下がり県補助金がカットされ毎年およそ一億円余りの一般財源の持ち出しとなります。それでも続けて行くのか、町民の評価をお尋ねします。

町長 試験運行の結果をみて検討いたします。町民からは時間帯の変更や増便を望む声が多くあります。

議員 少子化対策について 乳幼児医療費助成

を中学校まで拡大出来ないか伺います。

町長 平成29年度から実施出来る様進めているところであります。

議員 学校給食費の無料化を早急に出来ないか伺います。
教育長 今後の財政状況を勘案して検討してまいります。

環境整備について
議員 加計呂麻地区の道路周辺危険個所の伐採計画を伺います。

町長 緊急性の高い路線から随時伐採を実施しております。



柳谷 昌臣議員

商店街の活性化について

議員 日曜日の商店街をはじめ、市街地店舗が軒並み休んでおりますが、この対策について伺います。

町長 古仁屋中央通り会が中心となって実施いたしましたアンケート調査におきましても、商店街の「日曜・休日休業」に対する意見が最も多く寄せられています。

本町の商店街は、個人営業、家族経営の店舗が多く、都会と比べて勤務体制等

が整っていないことはいなめませんが、町と致しまして、今後の世界自然遺産登録や近畿圏からの格安航空機（LCC）の就航なども予定されていることから、増加する観光客等への対応も含めた日

曜・祝日の開店について、商工会に協力をお願いしていく考えであります。

議員 市街地の駐車場が少ない問題について伺います。

町長 市街地の駐車場につきましても、これまで市街地商店街の大きな課題として取り上げられてきましたが、近年、バニラエアを利用した観光客の大半がレンタカーを使用しており、市街地における駐車場問題は喫緊の課題となっております。

また、古仁屋通りの住民アンケート調査（862名）によりますと、商店街への不満及び商店街へ整備してほしい施設として「駐車場・駐輪場」が最も多い意見となっております。町といたしましても、

設置場所や広さ、利便性、維持管理運営など具体的な解決策について、通り会や商工会と連携しながら対策を進めていきたいと考えております。

チームせとうちについて

議員 鎌田町政におかれましては「チームせとうち」を掲げて町民、郷友会、役場職員が一体となつての街づくりを目指していると思いますが、具体的な連携があるのか、また今後、三者それぞれに期待することがあれば伺います。

町長 私は、就任以来、「チームせとうち」を旗印に町政刷新に取り組んでおり、その根幹を成す政治姿勢が「町民主体の政治」であることから、これまで町

民・郷友会・役場職員と一体となって「町づくり」に努力してまいりました。

具体的な連携については、「瀬戸内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定、「奄美南部大島医療介護連携協議会」の立案を町民との協働により進めています。

「ふるさと納税」や「企業誘致」等については各郷友会の協力を得ながら税収向上や誘致に努めております。

今後、三者に期待することについては、これまでと同様に、「大切なふるさと」を共に守り育てていきたいと考えており、共に手をたずさえ本町の発展のためにご尽力を頂きたいと願っております。

今後においても人と人の大切な繋がりにより「チームせとうち」はより大き

く成長していくものと確信しております。



元井 直志議員

農業用ハウスの整備について

議員 これからの整備計画はどうか

町長 これからの整備計画については、平成29年度事業において国庫事業、農業創出緊急支援事業（条件整備事業）で25a、阿木名・嘉鉄地区に計画しております。県単事業、農業農村活性化推進施設等整備事業（産地づくり）の下、4a阿木名地区に計画しております。

議員 リース計画はどうか

町長 リース計画につきましては、現在のところ計画はありませんが、先例地域の調査等を行い検討してまいります。

議員 費用的な面はどうか

町長 現在、町が導入している施設で事業費は10a当たり1,500万円から2,200万円になります。国庫補助事業の補助率は国60%、県16%、町10%、補助事業者14%となります、県単事業の補助率は県50%、町20%、補助事業者30%となります。

議員 農地の整理について
不在地主対策について

町長 本町においては、相続登記が進まず不在地主が多い状況にあります。農地中間管理事業等に係る優良農地については相関図を作成し、農地中間管理機構を通して担い手へ賃貸借を実施しております。

議員 耕作放棄地対策について

町長 現在、遊休地の開墾に取り組んでおり過去3年間の実績は、平成26年度開墾面積実績1・0ha、平成27年開墾実績1・4ha、平成28年度11月現在3・4haが開墾され、さとうきび、飼料用の草、果樹等が栽培されております。今後も遊休農地の開墾に積極的に取り組んで参ります。

議員 農業公社について

町長 現在、近隣の農業公社を設立した市町村の取組み状況等を調査し研究を行っております。

今後、農業公社・農業生産に取組む法人の設立に向け方向性の検討に取組んでまいります。



池田 啓一議員

町の将来について

議員 給食センター建設計画の当初から現在に至るまでの説明と今後について伺います。又上水道との関連についてお聞かせください。

町長 平成28年5月に役場関係部署の職員で構成する

「瀬戸内町立学校給食センター建設プロジェクトチーム」(以下「PT」)を設けて建設候補地について協議がなされました。

当初から、「清水文化村構想」の一部として清水が候補地になっていましたが、給食センターは毎日1日当たり40トから50トの水を使用することが分かり、簡易水道では集落が水不足になる恐れがあるという協議の結果として、場所については検討することになりました。

6月の第2回PTで候補地を瀬久井として提案されましたが、当該地が都市計画の用途地域制限区域であったことが分かったため、用途制限の変更手続きについて他県を含めた事例調査をするように指示がありました。現在進行中の上水道事業を

整備のうえ、清水地区ということで内定しました。

水道課に今後の計画について説明を受けたうえでプロジェクトチームとして候補地を清水地区と決定いたしました。

用地の取得等が完了しましたら、調理機器を含めた全体設計や補助金申請を行い、建設に向けて進めていく予定であります。

町内の環境整備について

議員 コミのポイ捨て禁止条例の計画は、どうなっていますか。

町長 国・県及び各市町村と協議をしながら進めていきたいと考えております。

議員 町内の海水の透明度の悪化等、海の環境対策を伺います。

町長 汚れた生活排水を防止するためには、合併浄化槽の推進や工事現場から流出する、赤土防止対策を検討する必要があると考えます。

魚類養殖に関する環境対策につきましては、瀬戸内漁業協同組合漁場改善計画に基づき、漁場環境保全に配慮した養殖漁業を推進しており、今後瀬戸内漁業協同組合を通じ、養殖業者へ適正な漁場環境保全を図るよう指導してまいります。

農業振興について

議員 加計呂麻に計画中の第三セクターについてお聞かせください。

町長 今後、農業公社・農業生産に取組む法人の設立に向け方向性の検討に取組んでまいります。

議員 脱葉機を各集落ま

たは生産組合等に配布の考え方はないのか伺います。

町長 現在、製造メーカーが脱葉機の製造を休止しており、製造状況を確認しながら検討してまいります。



向野 忍議員

子ども・子育て支援について

議員 一時預かり事業(ママ・サポ・スマイル)、放課後児童健全育成事業(古仁屋児童クラブ)に対する支援等について伺います。

町長 鹿児島県子ども・子

育て支援事業補助金交付金を活用しながら、それぞれの事業所に対して、運営面や施設整備等にもサポートしてまいりたいと考えています。

議員 運営費等が補助枠を超えた部分について、町長の子育て支援の政策予算として支援する考えはないか伺います。

町長 国の補助制度や受益者の自助努力も含めて必要性に応じて助成していきたいと思います。

議員 児童・生徒の医療費、給食費の無料化について、その後どうなったのか伺います。

町長 医療費の無料化については、平成29年度から実施できるよう準備を進めて

いるところであります。給食費については、今後の財政状況を勘案して検討を続けてまいりたい。

与路島・晴島・加計呂麻島の救急医療体制について

議員 奄美ドクターヘリの連携について伺います。

町長 県立大島病院を基地として、本町まで15分圏内で指定したランデブーポイントに飛来してきます。救急車、救急艇よりも早く到着し、搭乗医師等が救急救命士等より先に傷病者と接触し搬送することになります。本町では、各地区の嘱託員、消防団員を連絡員として配置し奄美ドクターヘリとの連携を図ること致しました。

議員 救急艇「おおとり」の建造予定について伺います。

町長 町内に離島三島を抱えていることから、これまでどおり救急艇「おおとり」は必要不可欠であるため、平成28年度に基本設計、平成29年度に奄振事業に要望を挙げ、平成30年度を予定として新造船建造を考えております。

議員 与路常駐看護師不在に対する対策について伺います。

町長 大阪在住の女性看護師が年明けに来られる予定をしており、与路地区の看護師不在は解消されるものだと思います。

議員 防災対策について
防災無線・FMラ

ジオの難聴解消対策の進捗状況について伺います。

町長 国の平成27年度補正予算奄美群島成長戦略推進交付金事業の採択を受けて、屋外拡声子局の未整備地区及び、難聴地区となっており、難聴地区を対象として本年9月末までに戸別受信機95台の設置を完了しております。今後においても、防災無線の受信精度の向上と更なる情報伝達の整備に努めてまいります。



編集後記

◆新しい議会構成のもと、町民の皆様の負託に応えられよう、議員10名一丸となって頑張ります。

◆議会報編集委員会も、主に一般質問や委員会活動を中心に議会の状況を皆様にお届けできますよう、限られた紙面ではございますが、精一杯取り組んでまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますますようよろしくお願いいたします。

◆季節の変わり目、健康にはくれぐれもご留意ください。皆様のご健勝を祈念いたします。(委員一同)

議会報編集委員会

委員長	澤	佳男
副委員長	元井	直志
委員	岡田	弘通
委員	池田	啓一
委員	中村	義隆
委員	町田	孝明